

業界初
壁倍率4.0倍
認定取得

壁倍率4.0倍 針葉樹構造用合板

木造軸組工法(FRM-0062)

枠組壁工法(TBFC-0024)

壁倍率4.0倍のメリット!

耐震・耐久性に優れる

構造用合板そのものが高耐久性を持っているため住宅の構造強度が大幅にアップし、耐震性や家の寿命に大きく影響します。

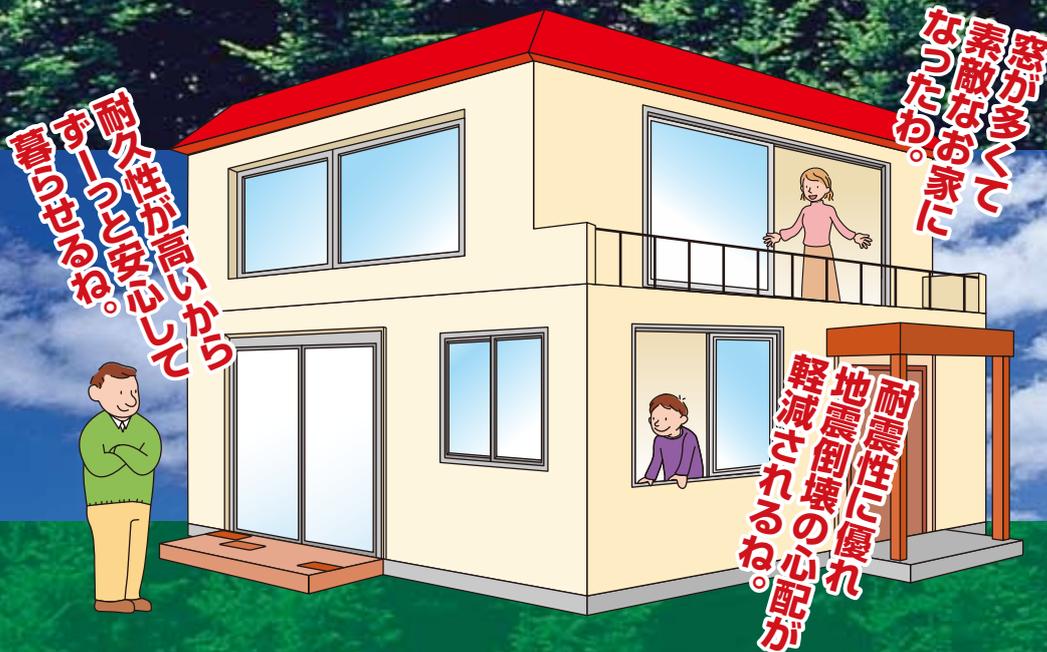
開口部が多く取れる

構造強度がアップしたことで従来よりも開口部を増やすことが可能になり、住宅のデザイン性・採光性を優先することができます。

筋かいがいらない

「たすき掛け筋かい」と同じ壁倍率を実現しました。筋かいがなくなることで施工時間の短縮やコストの大幅な削減が可能になります。

※木造軸組工法の場合



※N65の釘は木造軸組工法のみで使用可能です。

さらに住む人の健康に配慮した 壁倍率4.0倍 針葉樹構造用合板

業界初
壁倍率4.0倍
認定取得

壁倍率4.0倍 針葉樹構造用合板の概要

木造軸組工法

認定の内容

対象となる工法	木造軸組工法
認定番号	FRM-0062
認定の名称	くぎピッチ@10cm構造用合板直張り木造軸組耐力壁 厚9mm又は12mm構造用合板
認定された壁倍率	4.0倍

認定された施工方法

施工仕様	柱、土台、梁、胴差、桁、間柱等に直張り	
施工に用いる釘	N65又はCN65	
施工方法	釘打ち位置	合板の端部から12mm以上内側
	釘打ち間隔	外周部100mm 中通り@200mm

枠組壁工法

認定の内容

対象となる工法	枠組壁工法
認定番号	TBFC-0024
認定の名称	厚9mm又は12mm構造用合板
	くぎCN65
	外周@10cm中通@20cm
	枠組壁工法耐力壁
認定された壁倍率	4.0倍

認定された施工方法

施工仕様	たて枠、上枠、下枠等に打ちつける	
施工に用いる釘	CN65	
施工方法	釘打ち位置	釘の縁端距離は [たて枠] 枠材厚の1/4程度 [上下枠] 枠材厚の1/2程度
	釘打ち間隔	外周部100mm 中通り@200mm

【注意事項】

●「国土交通大臣認定番号 FRM-0062、TBFC-0024」は株式会社ノダが取得した個別認定です。 ●壁倍率4.0倍として使用できるのは、株式会社ノダまたは石巻合板工業が合板表面にマーキングを行って販売する構造用合板です。 ●施工説明書を参考に合板を張り付ける材料の断面寸法や釘の種類、釘の打ち方を守って施工してください。 ●施工方法、詳細納まり等でご不明な点がありましたら、営業担当者にお問い合わせください。

住宅室内環境基準0.08PPMに 対応できる構造用合板。 F☆☆☆☆(0.3mg/l)を大幅に下回る 放散量0.07mg/l~0.09mg/l(平均値)

一般的な合板の接着剤には、化学反応を完全にするため、ホルムアルデヒドが用いられています。合板が接着・硬化した後に、ホルムアルデヒドが空気中へ拡散されていきます。ホルムアルデヒドは、アレルギー体質の方に大敵。室内空気汚染問題の原因といわれています。

逆にホルムアルデヒドの使用量を抑えると接着強度が著しく低下してしまいます。それに比べ石巻合板の使用しているアルカリフェノールタイプの接着剤は、ホルムアルデヒドの放散量が0.08mg/l程度まで抑えられ、しかも抜群の接着強度が得られます。

接着強度を保つ。 アルカリフェノール樹脂の接着剤です。 (JAS規格で特類)

石巻合板の製品は、特類の接着剤を使用しているので接着強度の劣化(接着性能低下率)が極めて少なく、JAS規格の特類の基準を大きくクリアしています。耐候性が10年で8%位の劣化データが記録されています。(一般的に使用されている、メラミン、ユリア樹脂[1類]接着剤との耐候性を比べてください。)住宅の床、壁、野地等、下地に使用すれば、耐久性に優れた住宅になります。

お問い合わせ先

石巻合板工業株式会社
<http://www.ishinomaki.co.jp>

ISO 9001
認証取得

本社 宮城県石巻市潮見町4-3
TEL 0225-96-3111 FAX 0225-96-3116 E-mail honsya@ishinomaki.co.jp
東京営業所 東京都台東区浅草橋5-13-6(三朋ビル)
TEL 03-5829-6691 FAX 03-5823-1215 E-mail tokyo@ishinomaki.co.jp
東部営業所(本社内) 宮城県石巻市潮見町4-3
TEL 0225-96-3315 FAX 0225-96-3116 E-mail toubu@ishinomaki.co.jp